

本書の使い方

●学修ポートフォリオの活用●

1 学修ポートフォリオとは

本書で扱う「学修ポートフォリオ」とは、栄養教諭に求められる資質を計画的に身に付けるために、1年次から学生自身が、自己の履修計画や教職課程での学修記録、定期的な自己評価を記録した履修カルテ等を保管したものである。大学・短期大学・専門学校（以下「大学等」という。）の授業だけでなく、教育等に関連するボランティアや活動の記録も保管していく。

卒業年次（4年次・2年次）後期の必修科目「教職実践演習」では、学修ポートフォリオを活用し、一人一人の学生が身に付けた栄養教諭として最小限必要な資質能力と補完すべき課題を明確にする。

2 学修ポートフォリオへの保管

学修ポートフォリオには、以下の4点を保管する。

- ① 自己のカリキュラムマップ
めざす栄養教諭像に向けての履修計画
- ② 教職課程の学修記録
科目等で作成したレポートや作品、記録等
- ③ 教職課程以外の関連する学修や活動記録
臨地・校外実習（学校給食施設）やボランティア活動記録等
- ④ 修得状況および課題記録
履修カルテ例①：教職科目等履修と自己評価
履修カルテ例②：資質能力についての自己評価

（1）自己のカリキュラムマップ

めざす栄養教諭像や栄養教諭として最小限必要な資質能力を記入するとともに、それらに向けて学ぶ教職課程および管理栄養士・栄養士養成課程の科目等を記入することで、1年次から卒業年次（4年次・2年次）までの学修の全体像（履修計画）を把握することができる。**表1**は栄養教諭になるためのカリキュラムマップ例である。この表は一例であり、大学等によりカリキュラムは異なる。

巻末資料に、自己のカリキュラムマップ作成用紙および作成方法を掲載しているので、自分自身のカリキュラムマップを作成してほしい。

（2）教職課程での学修記録

教職課程では、**表1**にあるように「栄養に係る教育に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」等、栄養教諭免許状取得にあたって必ず履修しなければならない科目が法律で定められている。このほか、各大学等が独自に開講している栄養教諭養成に関する科目等がある。これらの科目等で作成したレポートや作品等を保管する。

〈例〉

- ・科目等で作成したレポート・作品
- ・指導案、ワークシート、作成教材
- ・栄養教育実習録 など

■表1 栄養教諭になるためのカリキュラムマップ例

めざす栄養教諭像 ※大学等のめざす栄養教諭像や、栄養教諭として働きたい自治体の教員育成指標等に示されている着任時に求められる姿等を参考に記入する。							
栄養教諭として最小限必要な資質能力 ※栄養教諭に求められる事項				① 使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項 ② 社会性や対人関係能力に関する事項 ③ 幼児児童生徒理解や学級経営等に関する事項 ④ 教科・保育内容等の指導力に関する事項 ⑤ 栄養の専門性に関する事項			
学年	教職課程科目例				栄養教諭免許状取得に必要な栄養科目	教職課程以外の関連科目や活動等	管理栄養士・栄養士養成課程の科目
	栄養に係る教育に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目			
	(4単位以上)	(8単位以上)	(6単位以上)	(4単位以上)	(8単位以上)		
4年				教職実践演習		現職栄養教諭交流研修会	
				栄養教育実習(事前・事後指導)			
3年	食教育実践論	特別支援教育概論				学習支援ボランティア 現職栄養教諭交流研修会	
	学校栄養指導論		教育相談			〇〇市食育フェアボランティア	
2年		教育心理学	生徒指導論			現職栄養教諭交流研修会	
		教育制度	道徳及び特別活動の指導法		情報処理演習Ⅱ	学習塾アルバイト	
1年		教職論	教育方法論		情報処理演習Ⅰ 英語Ⅱ 体育実技B	現職栄養教諭交流研修会	
	教育原理				日本国憲法 英語Ⅰ 体育実技A	教職課程履修ガイダンス	

（3）教職課程以外の関連する学修や活動記録

教職課程以外の科目においても、学校教育や教育等と関連するものを保管する。

〈例〉

- ・臨地・校外実習（学校給食施設）の記録
- ・地域等での食育活動記録
- ・学習支援ボランティア活動記録
- ・学校教育・児童生徒・食等に関するニュースや資料など

（4）修得状況および課題記録（履修カルテの利用）

本書では履修カルテ例①、②を示している。学生が自己の課題を発見し、主体的に学び、栄養教諭として最小限必要な資質能力を形成していくために、

履修開始時および各学年末末に自己評価を行う。そして、学修ポートフォリオに保管して、自己の成長の軌跡を確認し課題を把握する。

① 履修カルテ例①：教職科目等履修と自己評価

- ・教職課程科目：科目名、教員名、履修時期、到達目標（シラバス等から作成）、評価（履修後の成績）・単位数、修得事項と課題
- ・教職課程以外の関連科目等と自己評価：活動名、経験時期、内容、修得事項と課題（教員等の評価等も記入）

② 履修カルテ例②：資質能力についての自己評価

- ・栄養教諭として最小限必要な資質能力についての自己評価
- ・使命感や責任感・教育的愛情等、社会性や対人関